

心の宝箱

8月23日(木) ~ 8月25日(土)

IN 国立曽爾青少年自然の家



	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	工作・レクリエーション	ナイトハイク
2日目	水遊び	グループタイム	キャンドルファイア
3日目	清掃・思い出工作	施設を出発・解散	

一日目： 今回のキャンプはストーリーキャンプという事を行きの車内で説明し、ワクワクしている子や「？」と思っている子もおられました。施設に到着し、昼食を食べ、早速ストーリーが始まりました。施設に入るためのセキュリティカードを作ったり、怪盗を捕まえる練習をしたりしました。徐々に物語に入り込んでいく様子が見られ、グループ内で色々話をされていました。夜には真っ暗な道を抜け、敵の真相を聞きに行きました。物語が一気に進み始めると、参加者達の正義の心も沸々と込み上げていた感じがします。



二日目： 予報とは違い、朝から雷雨でせつかくの川遊びが中止になり、皆残念でいました。が、水鉄砲大会は行いました。敵が我々の行く手を阻むのを必死に水鉄砲を使って抵抗しました。そのあとにお馴染みの『自由になあれ』を行い、一度負けたので、各グループ話し合ったり、とにかく練習をしたり、他のグループと合同で行ったりしました。夜はとうとう最後の決戦です。皆の頑張りの末、敵を見事倒し、また主人公達のやり取りに感動されていました。



三日目： 昨日の大決戦から一夜明け、所々でまだ興奮冷めやらぬ状況で、「あのときは～」と話をされている声をチラホラ聞いていました。施設を清掃後、このキャンプの思い出を一枚の焼き板に書いてもらいました。それぞれ一番思い出のある事は違い、個性豊かな作品が仕上がっていました。昼食を食べた後、主人公達と別れを告げました。キャンプ期間中に誕生日だった方がおられたので、この時にプレゼントと一緒にお祝いをされました。きっと最高の思い出となるでしょう。一人一人感謝とさよならを言って、バスに乗車し、施設を後にしました。帰りの車内でもこのキャンプの話を皆さん沢山されていました。



<キャンプ総括>

打ち合わせの段階で今回のストーリーで一番懸念していたのが、話が難しいのではないかと内容でした。単純に正義と悪ではなく、それが二転三転するので、話についていけないと心配していましたが、振り返りを必ず行い、そして参加者同士で分からないところを説明、相談されていたので、問題は特になく皆物語に入り込んでくれました。今回伝えたかったことは『大事な思い出を忘れずに』です。このキャンプで出会った友達、リーダー、そして大自然を忘れずに、学んだこと、体験したことを忘れずにいてほしいです。そしてまたキャンプと一緒に大事な思い出を作っていきたいです。(竹中 哲郎)